

審 査 基 準

令和4年3月15日作成

法 令 名：銃砲刀剣類所持等取締法
根 拠 条 項：第9条の3第1項
処 分 の 概 要：猟銃等射撃指導員の指定
原権者（委任先）：大分県公安委員会
法 令 の 定 め： 銃砲刀剣類所持等取締法第9条の3第1項 銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第1条（届出及び申請の手続）、第12条（推薦等）、 第42条（猟銃等射撃指導員の基準）及び第43条（射撃指導員の指定の申請の手続）
審 査 基 準： 銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第42条第1項各号について、面接、試験、関係公益法人からの推薦等の方法により審査を行い、全てに適合していれば指定を行う。 なお、同項各号に規定する猟銃等射撃指導員の指定の基準中 (1) 第2号の「銃砲、火薬類及び狩猟に関する法令」とは、銃砲刀剣類所持等取締法、武器等製造法、火薬類取締法、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律等の法律、これらに基づく命令及びこれらに基づく行政庁の処分をいう。 (2) 第2号の「相当な人格識見」とは、猟銃等の射撃に関するものにとどまらず、社会生活全般におけるそれをいう。 (3) 第4号及び第5号の「相当な知識」・「相当に習熟」とは、一般的な知識・技能にとどまらず、指導の相手方の個別具体的事案に即して指導可能な程度の知識・技能をいう。
標 準 処 理 期 間：35日（うち経由期間18日）（行政庁の休日を除く。）
申 請 先：申請者の住居地を管轄する警察署の生活安全関係事務担当課
問 合 せ 先：大分県警察本部生活安全全部生活安全企画課（電話097-536-2131） 申請者の住居地を管轄する警察署の生活安全関係事務担当課
備 考：